

古北から30分!

今年4月にオープン! 古鎮を丸ごとリノベートしたオシャレ商業エリア「蟠龍天地」へ行ってみよう。今回はアクセス方法から見どころまでを紹介しします。

蟠龍天地でプチ観光



歴史ある水郷をリノベート

古鎮「蟠龍 (pan2 long2) 鎮」を街ごとリノベートし、2023年4月にオープンした商業エリア。明の時代から残る建物を極力保存し、各地から集めた古い瓦などを使いながら、昔ながらの街並みを再現している。



買い物からレジャーまで

「蟠龍天地」ではグルメとショッピングをメインにおきつつ、周囲にはホテルや緑地、美術館が広がる。街角にはアート作品や蟠龍鎮の文化紹介コーナー、廟もあり、ちょっとした観光やレジャーにもピッタリの空間が広がる。

アクセス

蟠龍天地

青浦区蟠龍路123弄8号

(軌道交通17号線「蟠龍路」駅から徒歩約8分)

☎ 6486-6486

🕒 10時~22時

👉 微信公式アカウント



エリアマップ

川を中心に、北市・南市に別れ、レストランやショップが軒を連ねる。緑地部分にはスケボーパークや乗馬クラブ、ドッグラン、公園・噴水広場などが設けられている。画像緑アイコン部分は、歴史探索や撮影スポット。



蟠龍天地とは



二〇二三年の古鎮施設

新しくオープンした商業エリア「蟠龍天地」は、上海の一等地。新天地と、水郷の観光地。朱家角を足して2で割ったようなユニークな施設だ。

石畳の細い通路のわきに並ぶ瓦ぶきの建物には、「ブルーボトルコーヒー」や「Lokaer」といった今を時めくオシャレレストランがずらりと並ぶ。エリア中心を流れる川では、アフタヌーンを楽しむ人々たちを乗せた船がゆったりと進み、川沿いでは街頭のクラシックを聴きながらミルクティーで夕涼み...といった具合に、昔ながらの江南文化と最新の流行がミックスされた不思議な空間だ。古鎮の建築を極力残しながら行った本気のリノベートは、美しく且つ嘘っぽさがなく、水と緑溢れるリラックス空間に仕上がっている。開発は「新天地」や「虹橋天地」も手掛けた瑞安集団が行った。

建物観察と水遊びがオススメ

とはいえ、蟠龍天地はさほど広くなく、目玉や観光名所があるわけでもない。期待値を上げすぎて訪れるとガッカリするかもしれない。

このエリアの楽しみ方は大きく分けて2つ。1つは、昔ながらの街並みと、文化や建築、アートに触れること。もう1つは、子どもとレジャーや水遊びを楽しむことだ。詳しくは次の見どころを読んでみてほしい。

また場所が17号線「蟠龍路」駅から少し歩き段差が多いこと、さらに一番近道の歩道橋はエレベーターが故障中だったため、ベビーカーなどの利用は多少不便かも。ご注意を!

見どころ紹介

食べる・買う

ショッピングエリアには100以上のレストラン・ショップが入居。「Manner」「楽楽茶」「平成屋」といった定番どころから、「Blue bottle」「申井氷店」などの人気店までが勢ぞろい。ただこのエリア特有のショップや商品には乏しいので、買い物目当てだとガッカリするかも。



手漕ぎ船

水郷の楽しみの1つが、手漕ぎの船。ここでは1人50元〜で、ゆらゆらと美しい橋をくぐりぬける乗船体験ができる。アフタヌーンティーは貸切り988円で、公式アカウントから要事前予約。8月の毎週木〜日曜夜には、船上から中国楽器の演奏会も実施する。



建築・アート

蟠龍天地には美術館「余德耀美術館」を併設している。またエリア内の歴史的建築物「程家祠堂」には蟠龍鎮の伝統工芸の展示やリノベーション工事の工程などが無料で展示されており、一見の価値あり。ほか街角に溢れる国内外アーティストの作品にも注目だ。



キッズ

蟠龍天地には子ども向けの無料スペースが豊富。噴水スペースでは子どもたちが水遊びを楽しめるほか、すべり台やアスレチックがある芝生公園も無料開放している。「童趣中心」ではキッズランド「MINI MARS」も入居。乗馬やスケボーパークもあり。



木船で水郷に行く

食べる・見る・遊ぶの三要素が詰まった蟠龍天地。それぞれの見どころを紹介していきます。

まずグルメだが、市中心地で人気のレストランやドリンク店が多数入居しており、使いやすい。エリア内にわかりやすい案内板や清潔なトイレが多数あるのも◎。ただし突出して有名なショップなどはなく、入居するショップ一覽だけを見ると、新天地や田子坊とさほど変わらない印象だ。ここではグルメやお土産探しより、水郷ならではの街並みや船を楽しもう。川を進む手漕ぎ船はアーティストが手掛けたオシャレなデザインで、ここで写真を撮るのもよし、奮発して45分間のアフタヌーンを楽しむのもよし。船から水郷の夜景を眺めるのもとても風情がある。

歴史探索やアート巡りも

また蟠龍鎮は狭い通りに廟と教会があり、その歴史を紐解くのも面白い。「程家祠堂」で昔の蟠龍鎮に触れてから改めてエリアを歩くと、古い町並みが重なるように見える。さらに蟠龍天地は子どもにも人気のスポット。夏の間は大きな噴水広場で、水着姿で水遊びをする子どもも溢れかえる。また芝生広場には遊具つきの公園を併設し、こちらも親子連れに好評だ。蟠龍天地だけを見て回るなら半日、美術館「余德耀美術館」やキッズランドと併せて楽しむなら1日過ごせる商業エリア。週末に、少しだけ足を伸ばして遊びに行ってみよう。